

# 長崎さるく博'06の経済波及効果

2007.2.9 長崎経済研究所作成

## 1. 観光統計にみる長崎さるく博'06の効果

平成18年4～10月の観光客数 総数355万人(前年同期比22万人、6.7%増)  
うち、宿泊客 151万人(12万人、8.5%増)  
日帰り客 204万人(10万人、5.4%増)

## 2. 経済波及効果について

### (1) 観光客の消費支出

平成18年4月～10月の観光消費額 484億円 前年同期比39億円、8.7%増

### (2) 市民のさるく博参加に伴う消費支出

市民の延べ参加者数247万人(実人員143万人) 消費支出額は25億円

### (3) さるく博開催に伴う主催者側支出

さるく博開催に伴う運営費・公共事業(歩道整備費等)・民間事業費等 18億円

### (4) さるく博開催に伴う経済波及効果

観光客、市民、主催者側の各支出を合わせた総支出額 527億円

このうち県外流出分を除く497億円を県内最終需要として、2000年長崎県産業  
連関表を利用し生産誘発額を推計すると、

直接効果及び1次～3次波及効果を含めた総合効果 865億円

うち、観光客支出分 799億円  
市民支出分 41億円  
主催者側支出分 25億円

【参考資料】

さるく博効果がうかがえる主な参考指標(4月～10月)

1) 観光施設利用者数	グラバー園 58万人、前年比8.3%増 主要26施設 255万人、前年比6.0%増
2) コンベンション	件数15.6%増、参加者数17.9%増
3) 交通機関	特急かもめ1日平均1.6%増、航空機利用客数1.2%増(減少に歯止め) コミュニティバス「らんらん」客数15万人、48.2%増 長崎バス「さるく記念1日乗車券販売数10万枚 路面電車・タクシーは7月以降、前年比プラスへ
4) 通行量、駐車場	長崎ICの自家用車通過台数5.6%増、出島道路交通量3.8%増 市営駐車場利用台数 3.0%増
5) コンビニ	客数、売上げとも長崎市域は県平均比2～3%増(ローソン)
6) 新聞・雑誌等記事	「長崎&観光」の記事659件、24%増(73紙・誌、日経テレコン)
7) その他	
スタンプラリー参加	2,828人(42コース2,028人、30コース300人、20コース500人)
さるくマップ配布	400万枚(18年2～10月)
マップブック販売	34,350冊
さるくグッズ	44社64種類
ロゴ使用申請	68社72件
公式ホームページ	アクセス件数は月平均49千件(開設から累計546千件)
行政等視察	28都府県60件